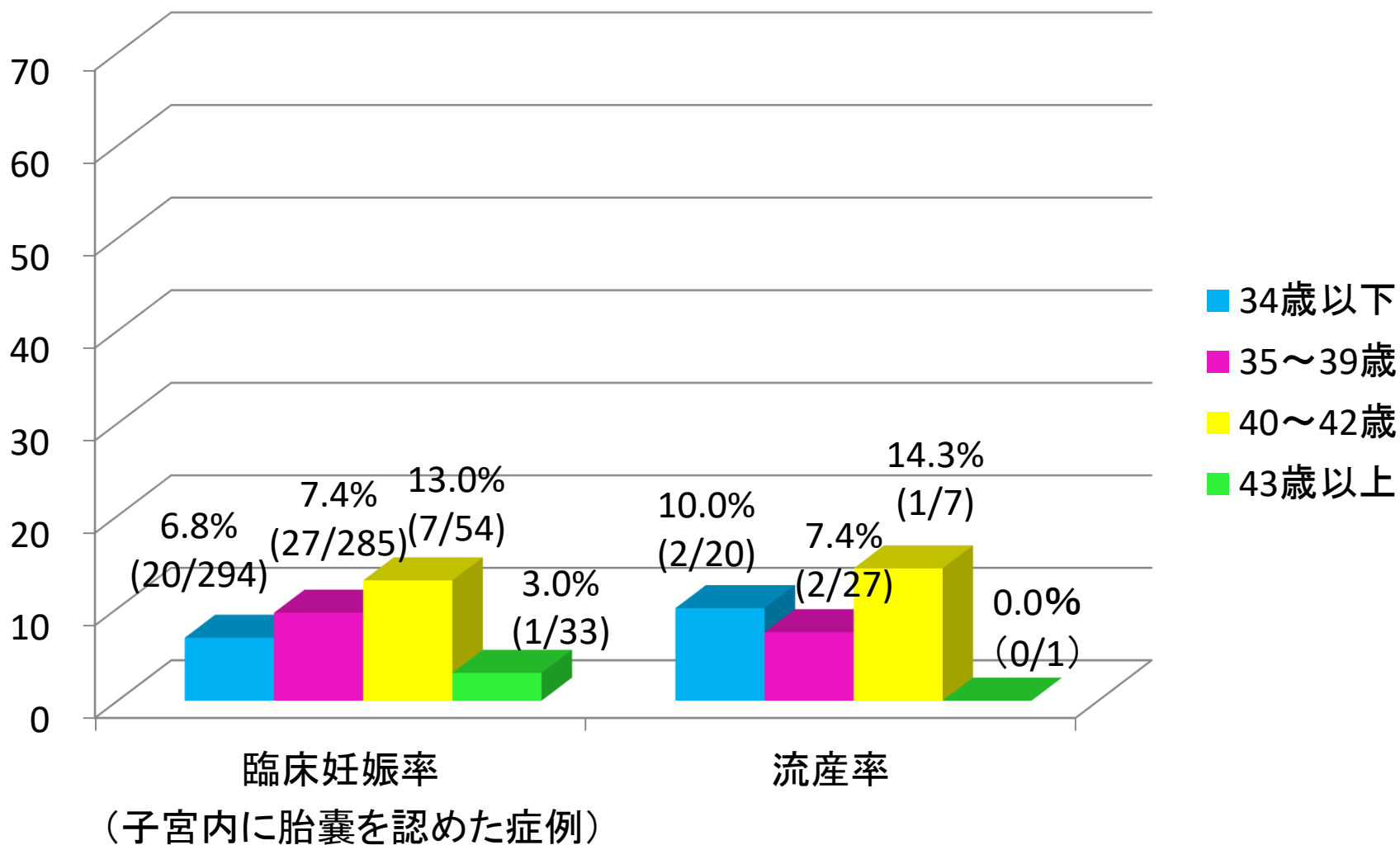
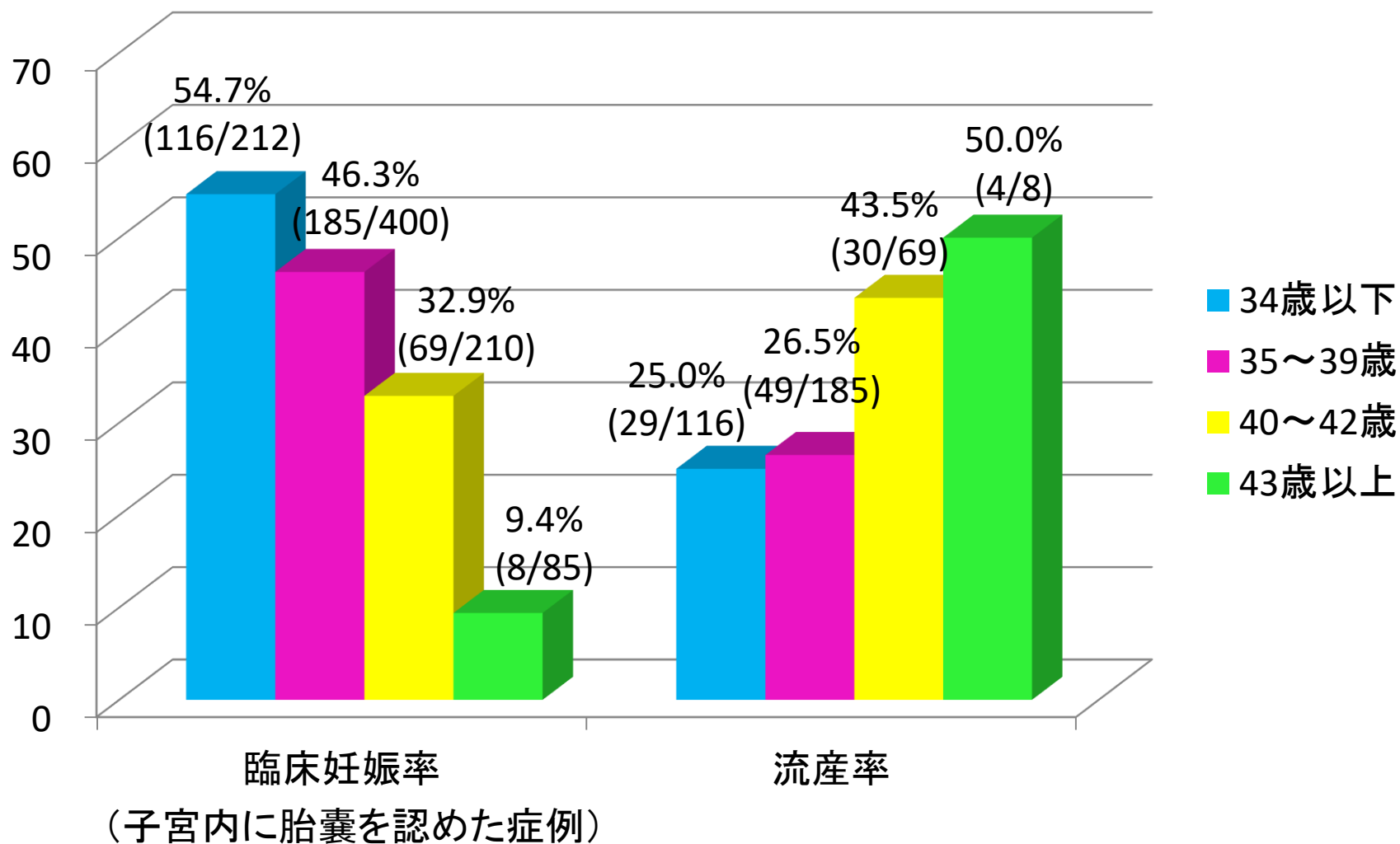


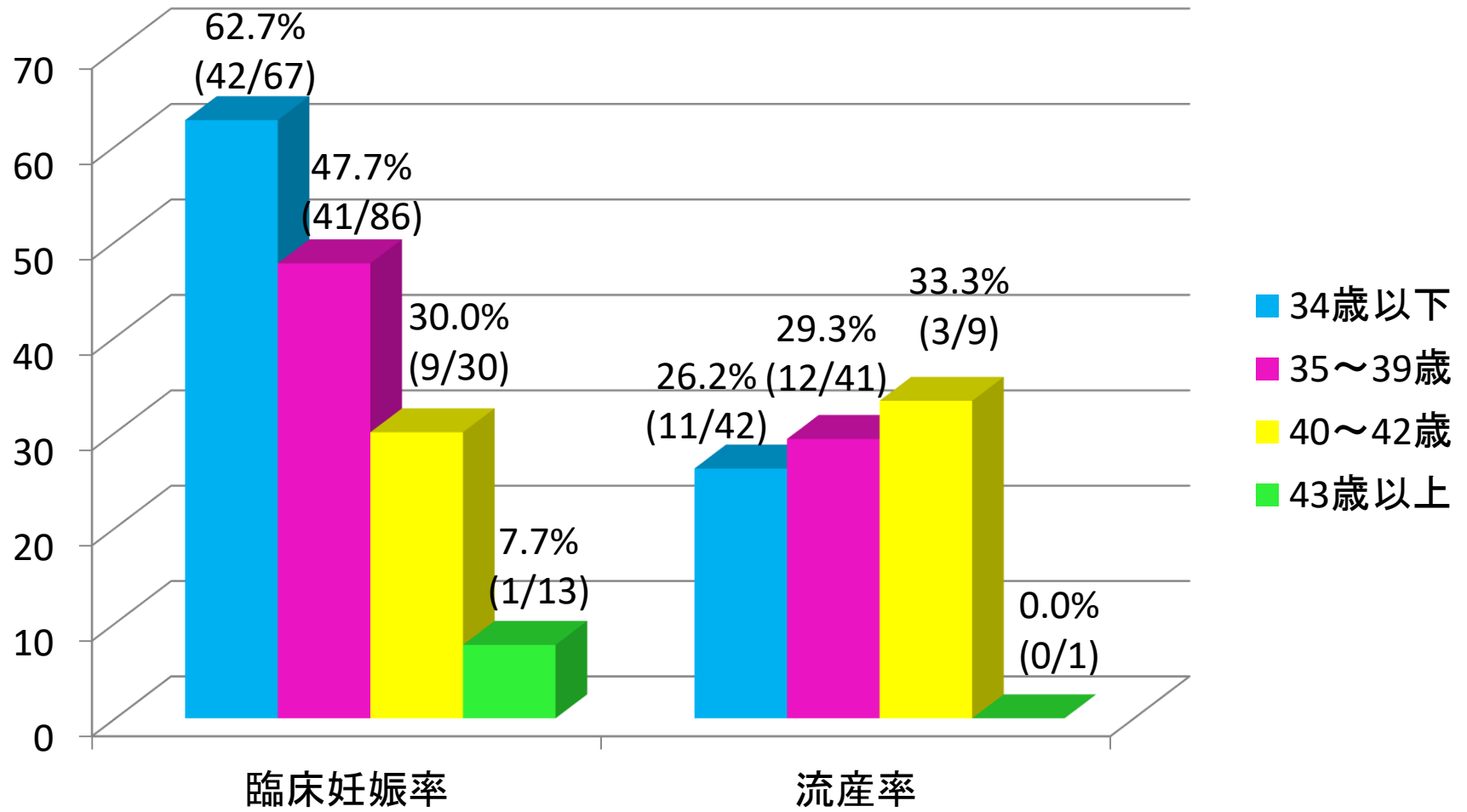
# 2022年の人工授精における 年齢別妊娠率および流産率



# 2022年の体外受精における 年齢別妊娠率および流産率

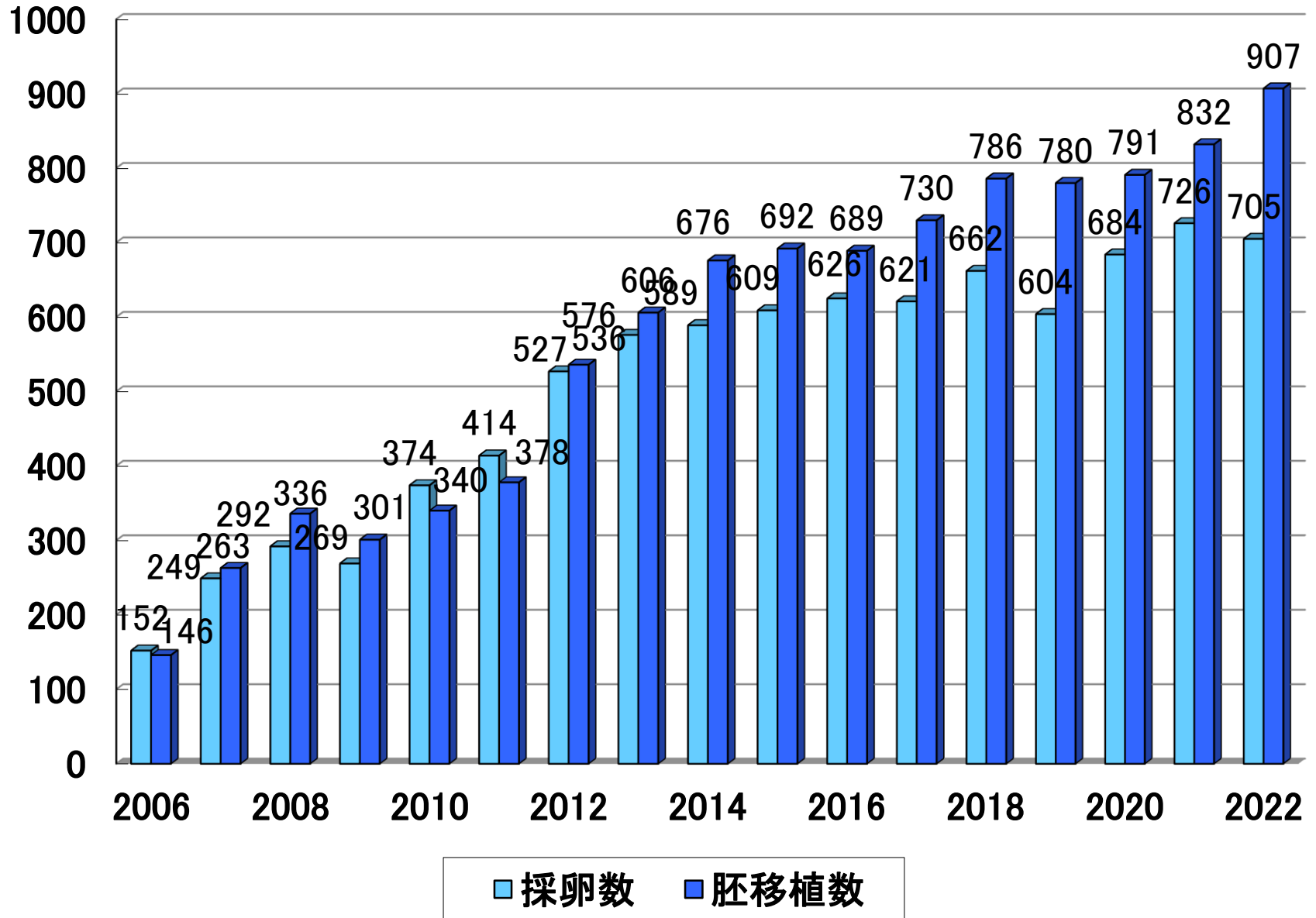


# 2022年の胚移植初回症例における 年齢別妊娠率および流産率



# 採卵数と胚移植数の年次推移

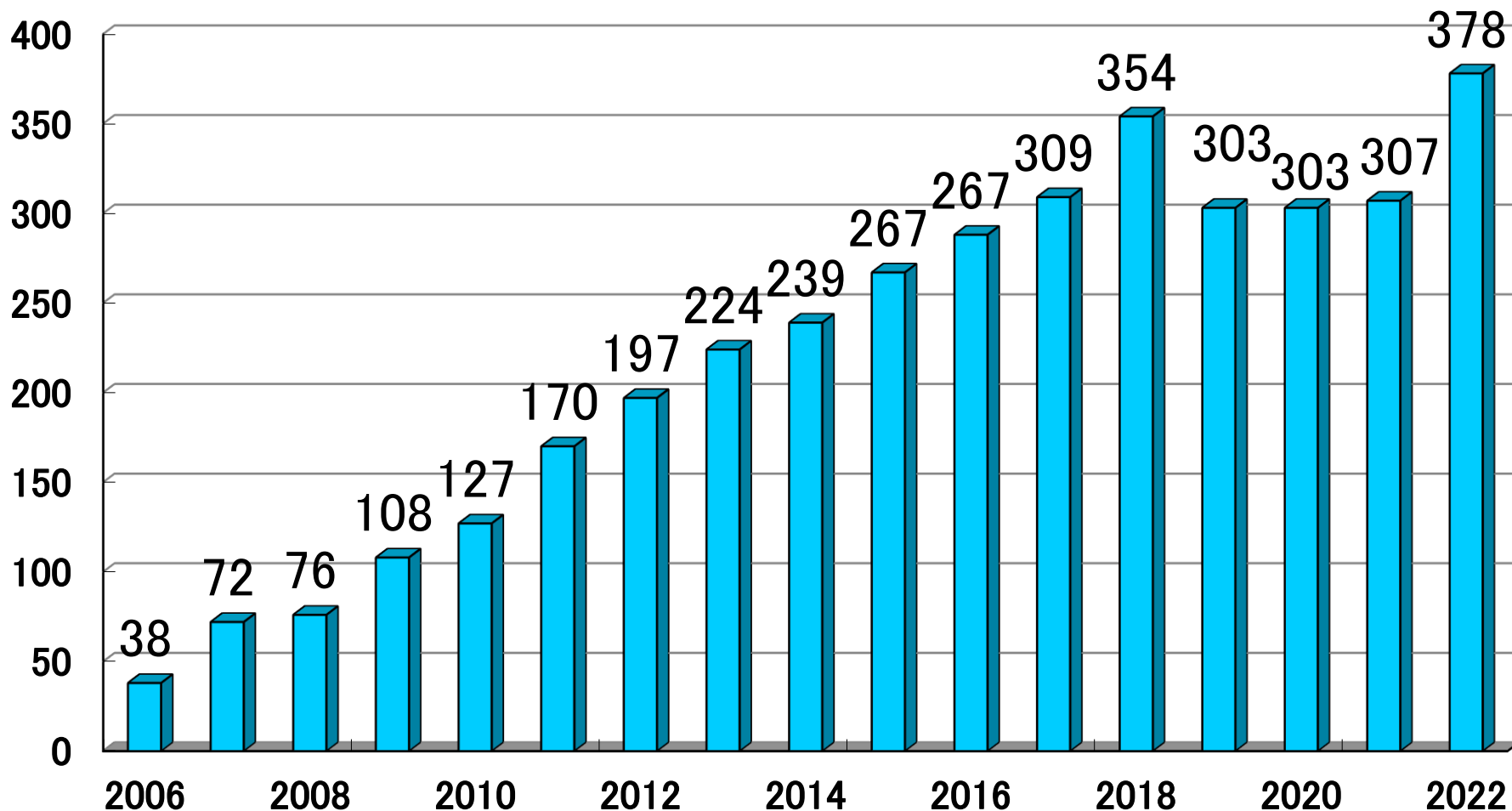
2022年は採卵数が705例、胚移植数が907例でした。



# 体外受精における年別、臨床妊娠数

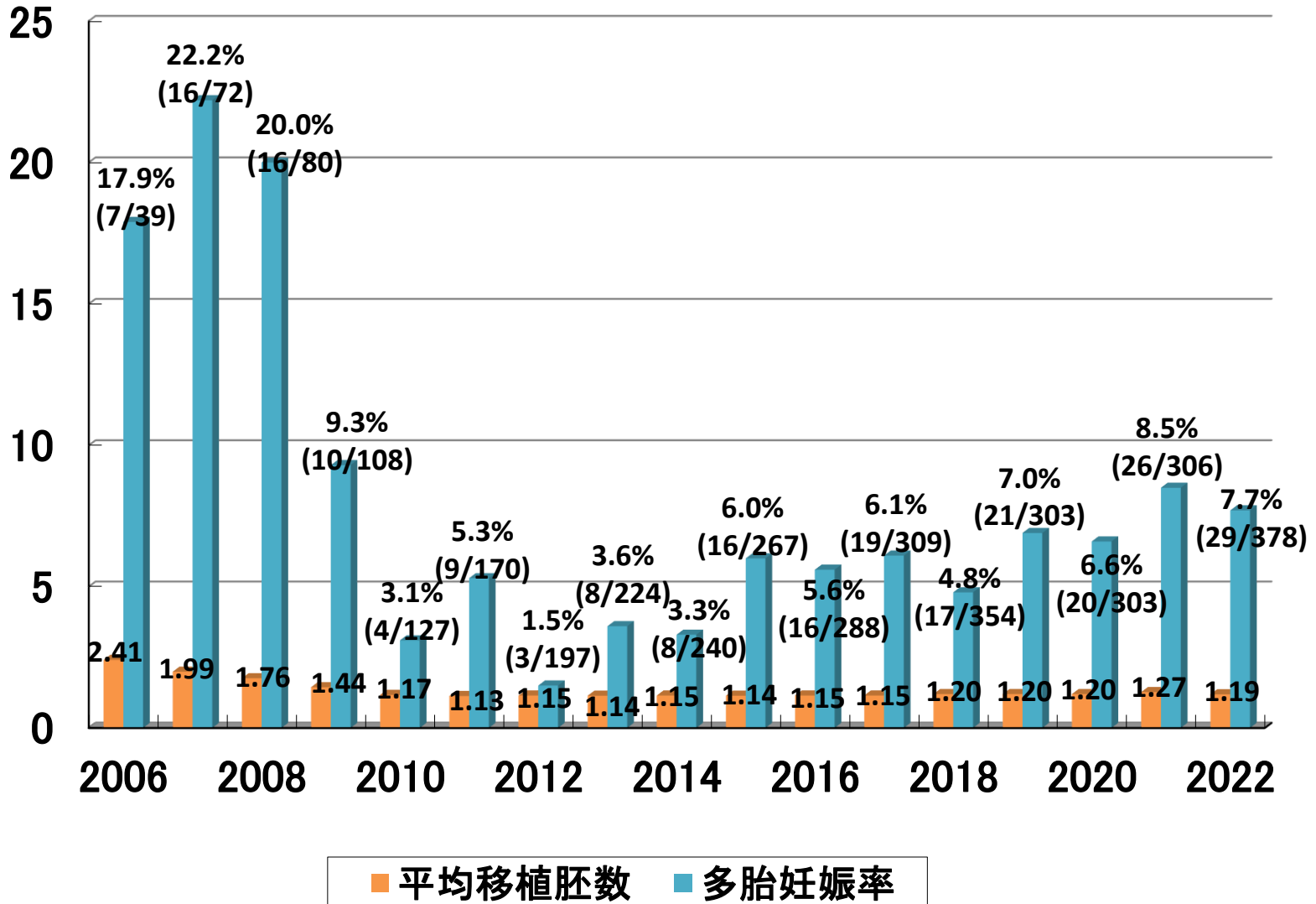
年間臨床妊娠数は2022年は378名に達しました。

(臨床妊娠数は、超音波検査にて子宮内に胎嚢を確認した症例です。)



# 平均移植胚数と妊娠当りの多胎妊娠率の年次推移

平均移植胚数は毎年減少してはきましたが、2010年からは横ばいとなっています。多胎妊娠率も、低値を維持しています。



# 2022年 ART治療成績

- ・採卵数: 705周期(初回症例: 344周期)  
体外受精...193周期・顕微授精...387周期  
体外受精+顕微授精...87周期
- ・胚移植: 907周期  
(新鮮胚移植 40周期、凍結胚移植 867周期)  
平均移植個数  $1.19 \pm 0.41$ 個  
平均年齢(胚移植あたり)  $37.3 \pm 4.3$ 歳
- ・妊娠反応陽性率: 49.3%(妊娠反応陽性数 447例)
- ・妊娠率: 41.7% (妊娠数 378例)  
(34歳以下 54.7%、35~39歳 46.3%、  
40~42歳 32.9%、43歳以上 9.4%)
- ・多胎妊娠率: 7.7%(多胎妊娠数 29例)
- ・流産率: 29.6%(流産数 112例)
  
- ・タイミング療法: 妊娠数 74例
- ・人工授精: 症例数 666周期 妊娠率: 8.3%(妊娠数 55例)